

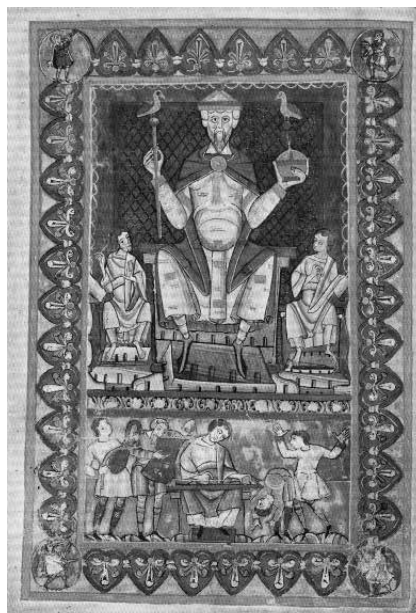
《ヴェルデン詩編》

Werdener Psalter, Berlin, Staatsbibliothek zu Berlin, Preußischer Kulturbesitz, Ms. theol. lat. Fol. 358

安藤さやか

作品概要

| | |
|-------|--|
| 名称 | 《ヴェルデン詩編》 |
| 所蔵先 | ベルリン、プロイセン文化財団国立図書館 Ms. theol. lat. Fol. 358 |
| サイズ | 254×170 mm、110 葉 (14 帖) |
| 言語・書体 | ラテン語、カピタリス・クアドラータ (各編冒頭)、カピタリス・ルスティカ (表題)、カロリング小文字 (本文) |
| 内容 | 『ローマ詩編 (プサルテリウム・ロマヌム)』 150 編 (fols. 1v-97)、カンティカ 10 編 (fols. 97-105v)、アンブロシウス聖歌 (fols. 103v-104)、アタナシウス信条 (fols. 104-105v)、復活祭計算表 (fol. 106)、カレンダー (fols. 106v-110)、月暦計算表 (fol. 110v) |
| 挿絵 | 6 点の全頁大挿絵 (うち 3 点のイニシアル頁、詩編 51 編挿絵は欠損)、190 点のイニシアル装飾 (大小含む) |



「詩編著者ダヴィデ」fol. 1v

| | |
|--------|---|
| 注文主 | 神聖ローマ皇帝オットー 2 世の娘、エッセン 貴族女子修道参事会院長ゾフィア (974/76-1029) ? |
| 来歴 | Werden, St. Liudger / Michael Glaser von Suntzheim (16./17. Jahrhundert) / Kloster Werden (1683-1802) / Paulinische Bibliothek Münster (1805-23) / Staatsbibliothek (ehemalige Königliche Bibliothek) zu Berlin, Preußischer Kulturbesitz (1823-) |
| 制作年代 | 1030 -50 年頃 |
| 制作地 | ヴェルデン、ザンクト・リウドガー修道院 |
| 写字生 | 1 名? |
| 挿絵画家 | 不明 |
| ファクシミリ | Werdener Psalter, Vollständige Faksimile-Ausgabe im Originalformat von Ms. theol. Lat. fol. 358 aus dem Besitz der Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz, Berlin, Codices selecti phototypice impressi, v. 63, Graz, Akademische Druck- u. Verlagsanstalt, 1979. |

作品解説および先行研究

現在ベルリンのプロイセン文化財団国立図書館に所蔵されている、通称《ヴェルデン詩編》は、エッセン

=ヴェルデンのザンクト・リウドガー修道院の写字室で、11世紀第2四半期に制作された挿絵入り詩編本である。ザンクト・リウドガー修道院は、8世紀末に宣教師ルドゲルスによって、ベネディクト会修道院として創立された。同写本が制作された時期は、同修道院はゲロルト（在位 1030-50）が修道院長をつとめ、神聖ローマ帝国はザリアー朝のコンラート2世（在位 1024-39）ないしハインリヒ3世（在位 1039-56）の治下にあった。修道院写字室で制作された小型写本ながらも、紅紫色を基調とした全頁大挿絵と、金銀を多用した多数のイニシアル装飾から成る同写本のミニアチュールは、オットー朝写本芸術の後期作例の一つに数えられる。

同写本が詩編テキストとして採用している『ローマ詩編 *Psalterium Romanum*』は、聖ヒエロニムスによる詩編のラテン語校訂の第一バージョンである。これが大グレゴリウスによって使節が送られイングランドに広まり、イングランドでは1066年のノルマン・コンクウェストまでは典礼で用いられ、ローマ以南のイタリアでは15世紀まで広まり続けた一方、ガリア地方では、ヒエロニムスによる第二の詩編のラテン語校訂である『ガリカン詩編 *Psalterium Gallicanum*』が、カロリング朝期の典礼改革により広まった¹。同写本は、11世紀の西ヨーロッパ大陸に於いては対訳の詩編本を除き、『ローマ詩編』を採用している珍しい例と言える。

《ヴェルデン詩編》については、1979年に二つの重要な研究、即ちH. クナウスによる解説付きのファクシミリと、R. カースニッツによるモノグラフィーが刊行され、今日に至るまで同写本の研究史に於ける重要な基礎となっている²。まずクナウスは、同写本が『ローマ詩編』を採用しており、ヴェルデンの修道院での典礼で用いられたものとは考え難い点、及び巻末のカレンダーの分析から、同写本の制作年代を1029年から1050年の間、特に1039年頃であるとし、エッセン女子修道院長ゾフィア（974/976-1039）によって注文された、個人用の詩編集が、注文主の死によってヴェルデンに残された可能性を指摘している³。この制作年代の同定は、様式分析を加えたカースニッツとも概ね一致を見ている⁴。更にクナウスは詳細なテキスト分析から、同写本の詩編テキストがアングロ=サクソンの注解付き詩編写本《ケンブリッジ詩編》（ケンブリッジ大学図書館、Ms. Ff. 1.23）に最も近く、恐らくヴェルデンの写字生がこれに近いアングロ=サクソンの詩編本を手本としたであろうことを明らかにした⁵。《ヴェルデン詩編》と《ケンブリッジ詩編》とは制作年代が近い上に、人物像を含むイニシアル装飾の類似性も認められ、両写本の血縁関係が推測される。

同写本のミニアチュールは、その様式・図像ともに、全頁大挿絵を中心に論じられてきた。モノグラフィーが刊行される以前の、制作年代の議論が殆ど様式批判に依拠していた展覧会カタログの解説に於いては、11世紀のリエージュ派やイングランド影響下の北フランス、ケルン、フルダ、マース河流域、ライン河流域など各地の写本芸術⁶、及びヴェルデンやエッセンの彫刻作品⁷と本作品との間に、単に造形的類似が見出されるに留まっていた。これに対してカースニッツは本作品の様式を、マース河流域やフルダの写本画を基盤としながらも、アングロ=サクソン写本を主とする手本の芸術様式を取り入れ、後のヴェルデンやエッセンの記念碑的芸術に決定的な影響を見出したものとして、オットー朝芸術の発展史の中に位置付けている⁸。

全頁大挿絵の主題と図像については、他の詩編写本の挿絵サイクルとの比較を中心とする、詩編の視覚化の伝統に於ける本作品の位置付けが試みられてきた。クナウス及びカースニッツは、本作品の全頁大挿絵の図像が、カロリング朝やアングロ=サクソンを主とした先行する詩編挿絵の図像系譜を継承しつつも、例えば第1編「支配者としてのダヴィデ王」（fol. 1v）が、古代末期の象牙板やオットー朝写本の皇帝図等に図像や構図の類似を見出だせるように、福音書写本や工芸等にまで手本が求められることを指摘している⁹。その他、例えば第109編挿絵（fol. 74v）のように一部の挿絵では、図像の主題と典拠の同定に未だ

議論の余地が残されている。詩編挿絵に関する多くの先行研究に於いて言及された本作品の全頁大挿絵も、十分に検討されているとは未だ言いがたい¹⁰。

一方、本作品のイニシアルは、詩編内容との関連を示し得る人物像表現を多く含むにも関わらず、これについて詳細に論じたのはカースニッツのみである。カースニッツは、本作品のイニシアルの人物像や建築物、動物等のモチーフと詩編テキストとを節ごとに照合し、そこに一定の関連性を見出だしている¹¹。しかし本作品には、一方では確かに詩編やカンティクムのテキスト内容と関連し、先行作例や後世の作例と多少の類似を示すものもあるが、他方では写本装丁板や象牙浮彫等の装飾に由来する、詩編テキストの内容とはほぼ無関係の、唐草と戯れる人物像によるイニシアルが多い¹²。このことからカースニッツは本作品のイニシアルが、もとは詩編の内容を何らかの形で示唆する図像を持つ「物語イニシアル¹³」であったものが、何代ものコピーを経ることで元来の意味が失われ、殆ど意味を持たない単なる装飾に陥つたのだらうと結論づけた¹⁴。2002年には鼓みどり氏が、詩編挿絵をそのレイアウト形式別に論じた際に、カースニッツによる図像と詩編テキストとの結び付けについて、根拠が曖昧だとして批判を加えている¹⁵。鼓氏によるその後の詩編挿絵研究で巻末に付された詩編挿絵の共観表は、詩編写本の挿絵サイクルの比較を可能にし、物語イニシアルを持つ他の詩編写本と本作品との間の差異、即ち詩編テキストの視覚化というよりも単純な装飾として機能しているという傾向が、より明確となった¹⁶。全頁大挿絵・イニシアル装飾ともに、《ヴェルデン詩編》のミニアチュールについての今後の研究には、詩編挿絵に限らずより広くその手本を求めることが必要となるだろう。

註

- 1 ヒエロニムスによる詩編のラテン語校訂・翻訳及び、中世の典礼におけるその使用については、以下を参照。FISCHER, Bonifatius: Die Texte, in: *Der Stuttgarter Bilderpsalter, Bibl. fol. 23, Württembergische Landesbibliothek, Stuttgart*, Stuttgart 1968, Bd. 2, S. 224.
- 2 Kommentar von KNAUS, Hermann: *Werdener Psalter, Vollständige Faksimile-Ausgabe im Originalformat von Ms. theol. Lat. fol. 358 aus dem Besitz der Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz, Berlin*, Codices selecti phototypice impressi, v. 63, Graz, Akademische Druck- u. Verlagsanstalt 1979; KAHSNITZ, Rainer: *Der Werdener Psalter in Berlin, Ms. Theol. Lat. Fol. 358. Eine Untersuchung zu Problemen mittelalterlicher Psalterillustration*, Beiträge zu den Bau- und Kunstdenkmälern im Rheinland Bd. 24, Düsseldorf 1979.
- 3 KNAUS 1979, S. 20, 30-32.
- 4 カースニッツは、クナウスと同様カレンダーの分析に加えて、ヴェルデン及び周辺地域の写本芸術との造形比較から、制作年代を1030-50年頃と推測した上で、エッセン女子修道院で修道院長テオファヌの為に1039-58年に制作された《テオファヌ福音書》(エッセン、大聖堂宝物庫)との類似から、本作品が特に1040年代に成立した可能性が高いと見積もっている。KAHSNITZ 1979, S. 78-90, 249-258, 263。以降の資料、例えば所蔵先のカタログでは、制作年代をやや広く捉え1030年以降としている。Beschr. von FINGERNAGEL, Andreas: *Die illuminierten lateinischen Handschriften deutscher Provenienz der Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz Berlin, 8.-12. Jahrhundert*, Katalog der Handschriftenabteilung, 3. Reihe, Illuminierte Handschriften, Bd. 1, Teil 1, Wiesbaden 1991, S. 107, Nr. 102.
- 5 KNAUS 1979, S. 22-23。尚、《ケンブリッジ詩編》の全テキストは以下で翻刻を確認出来る。WILDHAGEN, Karl: *Der Cambriger Psalter, zum ersten Male herausgegeben mit besonderer Berücksichtigung des lateinischen Textes*, Neudruck, Darmstadt 1964.
- 6 *Rhein und Maas, Kunst und Kultur, 1800-1400*, Ausstellungskatalog, Köln/ Brüssel 1972, Bd. 1, Nr. D6 (Beschr. von EUW, Anton von); *Zimelien. Abendländische Handschriften des Mittelalters aus den Sammlungen der Stiftung Preußischer Kulturbesitz Berlin*, Ausstellungskatalog, Wiesbaden 1975, Nr. 40.
- 7 例えば、1050-59年聖ルドゲルスの石墓の浮彫(ヴェルデン、ザンクト・リウドガー修道院聖堂宝物庫)や、1060年頃のブロンズの磔刑像(同宝物庫所蔵)との類似が指摘されている。WESENBERG, Rudolf: *Frühe mittelalterliche Bildwerke. Die Schulen rheinischer Skulptur und ihre Ausstrahlung*, Düsseldorf 1972, S. 57-58.

- 8 KAHSNITZ 1979, S. 263.
- 9 例えば、400年頃のローマの作例でありヴェルデンに所蔵されていたとされる《プロビアヌスの象牙二連板》(ベルリン、プロイセン文化財団国立図書館、Ms. Theol. Lat. Fol. 323) や、ライヒェナウで1000年頃に成立したオットー朝芸術の白眉《オットー三世の典礼用福音書抄本》(ミュンヘン、バイエルン国立図書館、Clm 4453) の「オットー三世像」(fol. 24) 等が指摘されている。KNAUS 1979, S. 41-43; KAHSNITZ 1979, S. 172ff.
- 10 その他、本作品の全頁大挿絵を取り扱った文献として、下記が挙げられる。BUDDENSIEG, Tilman: Die Basler Altartafel Heinrichs II. Beiträge zu ihrer Lokalisierung und ihrer Interpretation. in: *Wallraf-Richartz-Jahrbuch*, Bd. 9, 1957, S. 143; STEGER, Hugo: *David, Rex et Propheta. Erlanger Beiträge zur Sprach- und Kunstwissenschaft*, Bd. 6, Nürnberg 1961, Nr. 29; ALEXANDER, Jonathan James Graham: *Norman Illumination at Mont St. Michel 966-1100*, Oxford 1970, p. 149; SCHILLER, Gertrud: *Ikongraphie der christlichen Kunst*, Bd. 3, Gütersloh 1971, S. 37; EGGENBERGER, Christoph: *Psalterium aureum Sancti Galli. Mittelalterliche Psalterillustration im Kloster St. Gallen*, Sigmaringen 1987, S. 110; *Glanz alter Buchkunst: Mittelalterliche Handschriften der Staatsbibliothek Preussischer Kulturbesitz Berlin*, Ausstellungskatalog, Wiesbaden 1988, Nr. 9.
- 11 KAHSNITZ 1979, S. 216ff.
- 12 例えば《フルダの福音書装丁板》(バンベルク、国立図書館、Msc. lit. 1) の葡萄唐草とその中の人物像や、《テオファヌ福音書》(註4参照) のイニシアルを支える人物像などが、本作品のイニシアルの類別として挙げられている。KAHSNITZ 1979, S. 238ff. 尚、唐草模様の中の人物からロマネスク期の所謂「人物の棲まうイニシアル (inhabited initial; bewohnte Initiale)」への発展は、既に O. ベヒトによって論じられている。PÄCHT, Otto: The pre-Carolingian roots of early Romanesque art, in: *Romanesque and Gothic art, Studies in Western Art*, v. 1, Acts of the Twentieth International Congress of the History of Art, Princeton 1963, pp. 74-75.
- 13 「物語イニシアル (historiated initial; historisierte Initiale; initiale historiée)」は、本稿では「そのイニシアルから続く詩編テキストの内容に関連する図像を表すイニシアル」の意で用いるが、この語は研究史に於いて多義的に用いられている。用語法とその諸問題については以下を参照。JAKOBI-MIRWALD, Christine: *Buchmalerei : ihre Terminologie in der Kunstgeschichte*, Berlin 1991, S. 60-64; Idem: *Text - Buchstabe - Bild : Studien zur historisierten Initiale im 8. und 9. Jahrhundert*, Berlin 1998, S. 11-32.
- 14 KAHSNITZ 1979, S. 217, 261.
- 15 鼓みどり「テクスチャルな詩篇挿絵のイメージ変換をめぐる一考察」『富山大学教育学部研究論集』5号、2002年、110頁。
- 16 詩編挿絵の共観表は既に S. デュフレンヌによって試みられていたが、《ヴェルデン詩編》は含まれていない。鼓氏はこれを発展させ、詩編挿絵のレイアウト形式別の資料を作成している。DUFRENNE, Suzy: *Tableaux synoptiques de 15 psautiers medievales à illustrations intégrales issues du texte*, Paris 1978; 鼓みどり『ユトレヒト詩篇挿絵研究：言葉の織りなしたイメージをめぐる』中央公論美術出版、2006年。

[図版出典]

KAHSNITZ, Rainer: *Der Werdener Psalter in Berlin, Ms. Theol. Lat. Fol. 358. Eine Untersuchung zu Problemen mittelalterlicher Psalterillustration*, Beiträge zu den Bau- und Kunstdenkmälern im Rheinland Bd. 24, Düsseldorf 1979.

挿絵一覧表

註) 本挿絵表の主題・典拠は KUNAUS 1979 及び KAHSNITZ 1979 に、対応節は KAHSNITZ 1979 に基づく。詩編及び節番号は *Biblia Sacra iuxta Vulgatam versionem, dritte, verbesserte Auflage*, Deutsche Bibelgesellschaft, Stuttgart 1983 に、典拠及び対応節の書名略記は、『聖書 新共同訳』日本聖書協会、1987年に従った。

[1-全頁大挿絵]

| quire | psalm | fol. | 主題 | 出典 |
|-------|---------|------|---|-----------------|
| 1 | 第1編扉絵 | 1v | 王座につく支配者としてのダヴィデ王と二人の執筆者 琴(モノコード)を弾くダヴィデ、奏楽者、曲芸師 | 王上1 サム上16:23 |
| 4 | 第51編扉絵 | | Lacuna | |
| 9 | 第101編扉絵 | 64 | 獅子と竜を踏む勝利のキリスト | 詩90:13 |
| 10 | 第109編扉絵 | 74 | セラフィムを伴うマンドルラの中のキリスト | イザ61; マコ16:19 |
| | | | サウルにゴリアテの首を差し出すダヴィデ | サム上17:57 |
| | | | ゴリアテの首を斬るダヴィデ | サム上17:51 |

[2-イニシアル装飾]

| | quire | psalm | fol. | initial | 主題 (モチーフ) | 対応節 (vers) |
|--|-------|-------|------|-------------|-------------------|---------------|
| ブ サ ル テ リ ウ ム ・ ロ マ ヌ ム | 1 | 1編 | 2 | B | 二人の執筆者像 | |
| | | 2編 | 2v | Q | 唐草、身体を伸ばす男 | |
| | | 3編 | 3 | D | 唐草 | |
| | | 4編 | 3 | C | 唐草 | |
| | | 5編 | 3v | V | 唐草、葉 | |
| | | 6編 | 4 | D | 唐草 | |
| | | 7編 | 4v | d | 唐草、葉 | |
| | | 8編 | 5 | d | 唐草、組紐文 | |
| | | 9編 | 5v | C | 唐草 | |
| | | | 6 | E | 唐草、花文 | |
| | | 10編 | 6v | I | 唐草、花文 | |
| | | 11編 | 7 | S | 唐草 | |
| | | 12編 | 7v | V | 唐草 | |
| | | 13編 | 7v | D | 唐草 | |
| | | 14編 | 8 | d | 唐草、花文 | |
| | | 15編 | 8 | C | 唐草、葉 | |
| | 16編 | 8v | E | 唐草、葉 | | |
| | 2 | 17編 | 9v | D | 唐草 | |
| | | | 10 | C | 唐草、花文 | |
| | | | | | | |
| | | 18編 | 11 | C | 唐草 | |
| | | 19編 | 11v | E | 唐草 | |
| | | 20編 | 12 | D | 唐草 | |
| | | 21編 | 12v | D | 唐草 | |
| | | 22編 | 13v | d | 唐草、花文 | |
| | | 23編 | 13v | D | 唐草、花文 | |
| | | 24編 | 14 | A | 唐草 | |
| | | 25編 | 14v | I | 十字の花を持つ塔 (教会?) | 詩 25:8 |
| | | 26編 | 15 | d | 唐草の上に教会 | 詩 26:4-5 |
| | | 27編 | 16 | A | 銀のアーチと金の十字架を持つ至聖所 | 詩 27:2 |
| | 28編 | 16 | A | 唐草 | | |
| | 29編 | 16v | E | 唐草 | | |
| | 3 | 30編 | 17 | I | 小塔 (城塞或いは幕屋?) | 詩 30:4, 21-22 |
| | | | 18 | B | 唐草、葉 | |
| | | 32編 | 18v | G | 獣頭の唐草 | |
| | | 33編 | 19 | B | 唐草、花文 | |
| | | 34編 | 20 | I | 塔 | 詩 34:18 |
| | | 35編 | 21 | D | 唐草 | |
| | | 36編 | 21v | N | 唐草 | |
| | | | 22 | D | 唐草 | |
| | | 37編 | 22v | d | 唐草、花文、城塞 (神の家?) | |
| | | 38編 | 23v | D | 唐草 | |
| | | 39編 | 24 | E | 唐草 | |
| | 4 | 40編 | 25 | b | 唐草、葉、花文 | |
| | | | 25v | S | 唐草 | |
| | | 42編 | 26 | I | 塔 | 詩 42:3-4 |
| | | 43編 | 26v | D | 唐草、花文 | |
| | | 44編 | 27 | E | 唐草、花文 | |
| | | 45編 | 28 | d | 唐草 | |
| | | 46編 | 28v | O | 唐草 | |
| 47編 | | 28v | M | 唐草、花文 | | |
| 48編 | | 29 | A | 唐草、獣頭 (ロバ?) | 詩 48:1 | |
| 49編 | | 30 | D | 唐草 | | |
| 50編 | | 30v | M | 唐草 | | |

| | quire | psalm | fol. | initial | 主題 (モチーフ) | 対応節 (vers) |
|--|-------|-------|------|----------------------|----------------------------|------------|
| ブ サ ル テ リ ウ ム ・ ロ マ ヌ ム | 5 | 51編 | | | Lacuna | |
| | | 52編 | 32 | D | 唐草 | |
| | | 53編 | 32v | d | 唐草、竜 | |
| | | 54編 | 33 | E | 唐草、花文 | |
| | | 55編 | 34 | M | 唐草 | |
| | | 56編 | 34v | M | 二つのアーチと三つの塔のある教会 (キリストの墓?) | |
| | | 57編 | 35 | S | 唐草 | |
| | | 58編 | 35 | E | 唐草 | |
| | | 59編 | 36 | D | 唐草 | |
| | | 60編 | 36v | E | 唐草 | |
| | | 61編 | 37 | N | 唐草 | |
| | | 62編 | 37v | d | 唐草、建築物 | |
| | | 63編 | 37v | E | 唐草、花文 | |
| | | 64編 | 38 | T | 唐草 | |
| | | 65編 | 38v | I | アプシスのような張り出しのある塔 (神殿?) | 詩 65:13 |
| | | 66編 | 39v | d | 唐草 | |
| | 67編 | 39v | E | 唐草 | | |
| | 6 | 68編 | 40v | P | 唐草 | |
| | | | 41 | S | 唐草 | |
| | | | 41v | E | 装飾 | |
| | | 69編 | 42v | D | 唐草、花文 | |
| | | 70編 | 42v | d | 唐草、花文、人物の胸像 | 表題? |
| | | 71編 | 43v | D | 唐草 | |
| | | 72編 | 44v | Q | 唐草、竜 | |
| | | 73編 | 45 | U | 唐草 | |
| | | 74編 | 46 | C | 唐草 | |
| | | 75編 | 46v | N | 唐草 | |
| | | 76編 | 47 | V | 唐草 | |
| | 77編 | 47v | A | 教会 (ヴェルデン?) の下で祈る修道士 | 表題? | |
| | | 49 | E | 唐草 | | |
| | 7 | 78編 | 50 | D | 唐草、花文 | |
| | | 79編 | 51 | Q | 幾何学文、花文、祝福を示す手 | 詩 79:18 |
| | | 80編 | 51v | E | 唐草、花文 | |
| | | 81編 | 52 | d | 唐草、花文、アプシスのような張り出しを持つ塔 (?) | 詩 81:1 |
| | | 82編 | 52v | d | 唐草、古代風の衣服を纏い書物を持つ人物 | 詩 82:14 |
| | | 83編 | 53 | Q | 幾何学文、人物 | 詩 83:9-10 |
| | | 84編 | 53v | b | 唐草、花文 | |
| | | 85編 | 54 | I | 幾何学 | |
| | | 86編 | 54v | F | 唐草 | |
| | | 87編 | 55 | d | 唐草、花文、神の手 | 詩 87:10 |
| | | 8 | 88編 | 55v | M | 唐草 |
| | 56v | | | T | 唐草 | |
| | 89編 | | 57v | d | 唐草 | |
| | 90編 | | 58 | Q | 組紐文、火を吐く竜 | 詩 90:13 |
| | 91編 | | 59 | b | 唐草の上に立つ人物 (祝福?) | 詩 91:13 |
| | 92編 | | 59v | d | 唐草、竜 | |
| | 93編 | | 59v | D | 唐草、花文 | |
| 94編 | 60v | | U | 唐草 | | |
| 95編 | 60v | | C | 唐草、花文 | | |
| 96編 | 61v | | d | 幾何学、人物 (祝福?) | 詩 96:1 | |
| 97編 | 61v | C | 唐草 | | | |

| | quire | psalm | fol. | initial | 主題 (モチーフ) | 対応節 (vers) |
|--|-------|-------|---------------|---------------------|----------------------------|------------|
| ブ サ ル テ リ ウ ム ・ ロ マ ヌ ム | 9 | 98編 | 62 | D | 唐草 | |
| | | 99編 | 62v | I | 塔 | |
| | | 100編 | 62v | M | 建築物を持ち上げる人物 | 詩 100:2 |
| | | 101編 | 64v | D | 唐草 | |
| | | 102編 | 65v | b | 唐草 | |
| | | 103編 | 66v | B | 唐草、花文 | |
| | | | 67v | E | 装飾 | |
| | | 104編 | 67v | C | 唐草 | |
| | | | 68v | E | 装飾 | |
| | | 105編 | 69 | C | 唐草、花文 | |
| | 70 | | E | 装飾 | | |
| | 106編 | 70v | C | 唐草 | | |
| | | 71v | D | 唐草 | | |
| | 107編 | 72 | P | 唐草、花文、葉 | | |
| | 108編 | 72v | d | 唐草 | | |
| | 10 | 109編 | 74v | D | 玉座のキリスト、カール大帝(?)と聖ルドゲルス(?) | |
| | | 110編 | 75 | C | 唐草 | |
| | | 111編 | 75v | B | 唐草 | |
| | | 112編 | 76 | L | 唐草 | |
| | | 113編 | 76 | I | 枝(?)、ヤコブ或いはアラオンの家 | |
| | | 114編 | 77 | d | 唐草、組紐文 | |
| | | 115編 | 77 | C | 唐草 | |
| | | 116編 | 77v | L | 唐草、花文 | |
| | | 117編 | 77v | C | 唐草 | |
| | | 118編 | 78v | b | 唐草 | |
| | | | 79 | I | 塔 | |
| | | | 79 | R | 唐草 | |
| | | | 79v | A | 唐草 | |
| | | | 79v | L | 唐草、塔 | |
| | | | 80 | E | 唐草、花文 | |
| | | | 80 | M | 唐草 | |
| | | | 80v | P | 唐草 | |
| | | | 81 | B | 唐草 | |
| | | | 81 | M | 唐草、裸の人物 | 詩 118:73 |
| | | 81v | d | 唐草、花文、銀の耳を持つ悪魔の頭(?) | 詩 118:85 | |
| | 81v | I | 塔 | | | |
| | 82 | Q | 唐草、竜 | | | |
| | 82v | L | 唐草、建物 | | | |
| | 82v | I | 塔 | | | |
| | 83 | F | 唐草 | | | |
| | 83 | M | 唐草 | | | |
| | 83v | I | 塔 | 詩 118:139 | | |
| 83v | C | 唐草 | | | | |
| 84 | U | 唐草 | | | | |
| 84 | P | 唐草 | | | | |
| 84v | A | 唐草 | | | | |
| 119編 | 85 | A | 唐草、巨大な丘の上の神の家 | | | |
| 120編 | 85 | L | 唐草 | | | |
| 121編 | 85v | L | 唐草、塔(神の家) | 詩 121:1 | | |
| 122編 | 85v | A | 唐草、竜 | | | |
| 123編 | 86 | N | 唐草、犬 | 詩 123:6 | | |
| 124編 | 86 | Q | 幾何学文 | | | |
| 125編 | 86v | I | 書物を持つ王 | | | |
| 126編 | 86v | N | 人物 | | | |

| | quire | psalm | fol. | initial | 主題 (モチーフ) | 対応節 (vers) |
|--|------------|--------|------|---------------------|--------------------------------|------------|
| ブ サ ル テ リ ウ ム ・ ロ マ ヌ ム | 12 | 127編 | 87 | B | 唐草、花文、唐草を登る人物 | 詩 127:12-3 |
| | | 128編 | 87 | S | 唐草、唐草に絡む裸の人物 | |
| | | 129編 | 87v | d | 花文、人物 | |
| | | 130編 | 87v | D | 唐草、唐草に絡む裸の人物 | 詩 130:1-2 |
| | | 131編 | 88 | M | 二つのアーチを持つ建物で祝福するキリストと祝福を受ける修道士 | |
| | | 132編 | 88v | E | 唐草、花文、人物 | |
| | | 133編 | 88v | E | 幾何学文、人頭、裸の人物二人(祝福?) | |
| | | 134編 | 89 | L | 幾何学、唐草、文字を登る人物 | |
| | | 135編 | 89v | C | 唐草、文字を上る人物 | |
| | | 136編 | 90 | S | 組紐、文字を上る二人の人物 | |
| | 137編 | 90v | C | 幾何学文、花文 | | |
| | 138編 | 91 | d | 唐草、槽から身をのり出す裸の人物 | | |
| | | 91 | E | 装飾 | | |
| | 139編 | 91v | E | 唐草、竜 | 詩 139:4 | |
| | 140編 | 92 | D | 唐草、花文 | | |
| | 141編 | 92v | U | 唐草、人頭柱、唐草に絡む裸の人物 | | |
| | 142編 | 93 | d | 幾何学文、竜、斧を持つ人物 | | |
| | 143編 | 93v | B | 唐草、有髭の人物(ゴリアテ?) | 詩 143:1, 10 | |
| | | 94 | D | 唐草 | | |
| | 144編 | 94v | E | 植物文、三頭の竜 | | |
| | | 94v | C | 唐草、犬 | 詩 144:16 | |
| | 145編 | 95 | L | 唐草、竜の口を槍で突く人物 | | |
| | 146編 | 95v | L | 角のある人頭の鳥 | | |
| | 147編 | 96 | L | 唐草、本を持つ修道士(修道院長?) | 詩 147:12 | |
| | 148編 | 96 | L | 唐草、地を這う人物 | | |
| | 149編 | 96v | C | 幾何学文、斧を持ち文字を登る人物 | | |
| | 13 | 150編 | 97 | L | 唐草、竜 | |
| | | イザヤ | 97 | C | 幾何学文、花文、鎧を手にし文字を上るマントの人物 | |
| | | エゼキエル | 97v | E | 幾何学文、花文、槍で竜の口を突く人物 | 詩 38:10 |
| | | アンナ | 98 | E | 幾何学文、花文、二羽の鳥 | |
| | | モーセI | 98v | C | 幾何学文、文字を上る人物 | |
| | | ハバクク | 99v | d | 幾何学文、斧を担ぐ人物と裸の人物(切断により損傷) | |
| | | モーセII | 100 | A | 唐草、文字をまたぐ裸の人物 | |
| | | 三人の若者 | 102 | b | 幾何学文、花文、天使と祈る修道士 | 詩 3:49 |
| | | ザカリヤ | 102v | B | 唐草 | |
| | | 聖母マリア | 103 | M | 唐草、二人の修道士 | |
| | シメオン | 103v | N | 唐草、角のある人物、斧をかざす人物、竜 | | |
| | アンブrosiア聖歌 | 103v | I | 唐草文字を担ぐ人物 | | |
| | アタナジウス信条 | 104 | Q | 幾何学文、竜、玉座に座り祈る修道士 | | |
| | 14 | 復活祭計算表 | 106 | | | |
| | | 1月 | 106v | KL | 唐草 | |
| | | 2月 | 107 | KL | 唐草、葉、犬 | |
| 3月 | | 107v | KL | 唐草、葉、鳥 | | |
| 8月 | | 108 | KL | 唐草、二頭の竜 | | |
| 9月 | | 108v | KL | 唐草、二羽の鳥 | | |
| 10月 | | 109 | KL | 唐草、二頭の竜 | | |
| 11月 | | 109v | KL | 唐草 | | |
| 12月 | | 110 | KL | 唐草、鳥 | | |
| 月暦計算表 | | 110v | | | | |
| カ レ ン ダ ー | 14 | 1月 | 106v | KL | 唐草 | |
| | | 2月 | 107 | KL | 唐草、葉、犬 | |
| | | 3月 | 107v | KL | 唐草、葉、鳥 | |
| | | 8月 | 108 | KL | 唐草、二頭の竜 | |
| | | 9月 | 108v | KL | 唐草、二羽の鳥 | |
| | | 10月 | 109 | KL | 唐草、二頭の竜 | |
| | | 11月 | 109v | KL | 唐草 | |
| | | 12月 | 110 | KL | 唐草、鳥 | |
| | | 月暦計算表 | 110v | | | |